

A.C.P.C.

ALL JAPAN CONCERT TOUR PROMOTER'S CONFERENCE

INFORMATION NEWS

ZONING



VOL. 18 AUGUST
1998

© 1998 A.C.P.C. 禁無断復写転載

発行元：社団法人全国コンサートツアー事業者協会

発行人：内野二朗

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-9-20 TM広尾3F

編集人：善木準二

編集担当：葛岡 晃

Editorial & Art Direction : White

THE LONG INTERVIEW

Zepp Sapporo



ライブ・シーンを揺るがす 新たなる発信地堂々完成!

東京・新宿の日清パワーステーションが終焉を迎え、一抹の寂しさが漂った今春、時を同じくして新しいライブ・ホールが産声をあげた。

ソニー・グループの全面バックアップによって完成したZepp Sapporoがそれだ。

しかも今年年末から来春にかけて、東京、大阪、福岡にもこのZeppホールはオープンを予定している。これによってライブ・シーンは更に活況を呈していく予感に包まれている。

聞き手=葛岡 晃(ソーコー東京)

構成=轟田 昇(work shop j.p.n.)



深堀光康

(ふかぼりみつやす)

1954年9月11日生まれ
1981年APRIL MUSIC(現ソニー・ミュージックアーティスト)入社。
出版部、制作部(村松健、渡辺真知子担当)を経て、
キューン・ソニーレコード、エビック・ソニーレコードの販促から、
(株)ホールネットワークに出向、
現在Zepp Sapporo支配人。



すすきのから歩ける絶好のロケーションにある“Zepp Sapporo”は、札幌の音楽業界・ファンが待ちに待った施設。アーティストの地方離れが最も顕著に顕れる札幌で、11t車での輸送が必要でなく、そのための移動日を前後に1日ずつ取る必要のないホールが出現したこと、コンサートの数が大きく増えることが期待される。開業前より、マスコミに大きく取り上げられ、早くも札幌の新名所となりつつある。

●アクセス：地下鉄「中島公園」駅より徒歩1分。

—— まずは、Zepp Sapporoをはじめとするホールネットワークの立ち上げといいますか、いわゆるソニーの資本によるホールの建設に関して、現在にいたるまでの流れから伺いたいのですが…。

深堀：僕がEPIC SONYから移動になったのが去年(97年)の6月なんですよ。で、その前に1年ほど、社長の秦幸雄(ホールネットワーク社長)がですね、ソニー・ミュージックの社長の丸山(茂雄)氏のもとで、ライブホールがビジネスとして成り立つかどうかということを、検討&模索していたんですね。

—— その1年というのが97~98年?

深堀：そうですね。その途中で、広さとして大体1000坪くらいないとできないビジネスであるということがわかって…。因みにここ(札幌)は850坪なんですけどね。

—— なるほどね。

深堀：で、札幌でまず第1号を作ろうということで、ウチの秦と、おそらく小島社長(ウェス代表取締役)との間で、ビジネスとして具体的に採算が取れるかどうかの話を結構真剣に煮詰めまして…。ご存じのように、札幌のホール事情はそんなにいいほうではないので、まぁWESSさんの的には、インフラ的にもあったほうがいいというか、是非作ってほしいという話だったんです。それで、6月に発令になって、8月ぐらいに現地にきて、場所固めをする一方で、イベントさんや放送局の事業部にご挨拶にうかがつたという形ですね。その後、10月20日が鍵入れ式で、年が明けてからは次々にいろんなことがあって、あっという間に4月12日(オープン)が来たという感じですね(笑)。

—— 基本的には、仮設なんですね?

深堀：いや、常設ではあるんですが、10年間の限定営業です。

—— ということは、98年がスタートですから、2000年を迎えて、2007年までの営業ということですか?

深堀：そうなりますかね。

—— 計画としては、年間どのくらいの稼働を予定しているんでしょうか。

深堀：うーん、コンサートで120本できたらいいなとは思いますけど、現実はそんなに甘くないので、100本いくかどうかじゃないでしょうか。下手したら80本くらいかも知れませんね、今年は。

—— それは、コンサートに限定した場合ですよね。

深堀：ええ、そうです。

知念里奈

RINA CHINEN

NEW SINGLE

「Be yourself」

ブルボン「プチ」CMイメージソング

c/w HEART of voice SRDL4538 ¥1,020 (tax incl.)

IN STORES NOW

SONY
Sony Music Entertainment Japan Inc.



THE LONG INTERVIEW

Zepp Sapporo

—— そうじゃない時は別の形の催し物も追求するということですか?

深堀：そうですね。例えばイベントとかトークショーなどを入れていかないと、北海道の場合はキツいというか…。

—— お笑いなどもやるわけですか?

深堀：ええ、入ってますね。吉本興業さんとか。

—— お笑いは、やっぱり入りますよね。あとは、札幌という土地柄はダンス・ミュージックに強い傾向があると思うんですけど、そういう意味では、いわゆるエイベックス系の催しも…。

深堀：やっていきたいですね。エイベックスも資本参加していますから。

—— そうですよね。ソニーとエイベックスの資本ということですもんね。

深堀：ええ。ただ、ダンスマュージックというよりも、このところスタンディングに合うロックのアーティストたちがどんどん増えてきているので、そっちのほうが逆に多くなるんじゃないでしょうか。先日の真心（ラザース）なんかも、オールスタンディングでした。当初は椅子を並べるという話もありましたけど、結局スタンディング・スタイルでしたからね。

—— 椅子で何席なんでしたっけ。

深堀：椅子で833席です。

—— スタンディングだと?

深堀：2009です。

—— この“9”というのは何か意味が…?

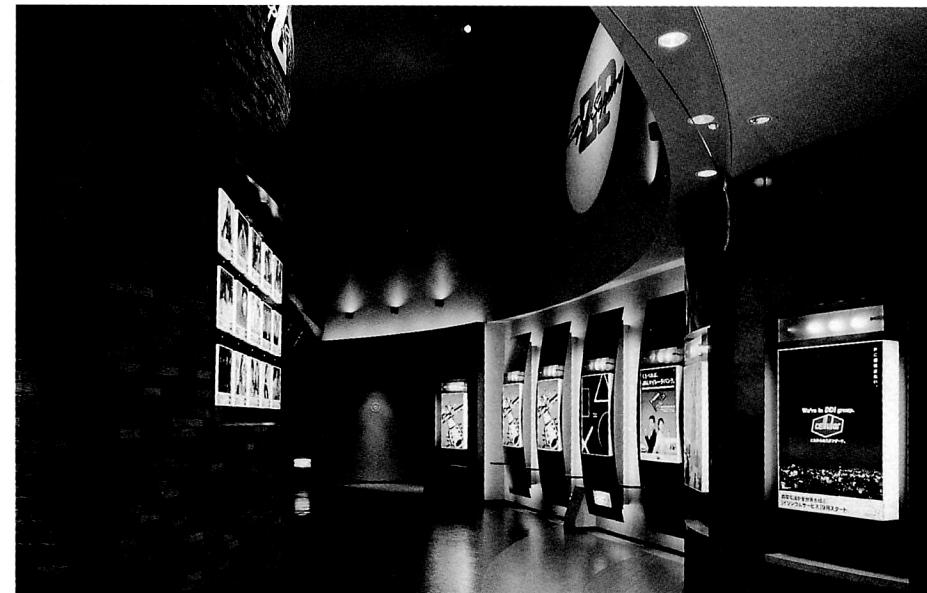
深堀：不思議な数字ですよね。

—— 何かあるんですね。

深堀：消去法の関係ですね。

スタンディングスタイルを基本コンセプトにしたライブ・シアターの構想

—— 東京には赤坂BLITZがあって、あとは例えば名古屋だとダイヤモンド・ホール、大阪だとヒートビート… etc.と、スタンディングで活躍できるホールがありますよね。あと、ホール自分がパブリシティを持っているケースとか。もちろん、東京発でブッキングはされていくわけですけど、やっぱりそういうところとのリンクをしようと思った場合、仮にスタンディングホール・スペシャルみたいなものを考える時には、札幌にはZeppがあるから…と如実に需



要が高まっていくような気がするんですが…。そういえば、札幌以外にもZeppのホールはどんどん完成していくんですね。確か東京と大阪と…福岡もあるんでしたっけ?

深堀：そうです。その4ヶ所です。札幌、東京、大阪、福岡の4つが揃うのが来年の5月だから、その時に初めてZeppの全てが機能を始めます。

—— ホールの機構と特徴というのを伺いたいのですが。

深堀：基本的にはスタンディングを意識しているというか…。

—— Zeppってムービングライトは入っていないんですか?

深堀：ないです。

—— 基本的にはスタンディングのライブに耐え得るよう…。

深堀：ええ。楽器演奏だけでできるようなライブ・シアターを作りたかったというのが根底にあるものですから。

—— 基本はそうですよね。

深堀：発想はそうなんですがね。僕の場合、ちょっと不勉強で海外へは行ってないんですけど、アメリカにはこういうスタイルのライブ・シアターが幾

つもあって、毎日いろんなアーティストが出ていると聞きます。昔有名な人だったとか、今有名とか、無名の新人が4アーティストくらいまとめてやっているとか…。とにかく、常に誰かしらライブをやっているという…。

—— それはやっぱりニューヨーク?

深堀：とかLAとか。まあ赤坂BLITZなんかはライブ・シアターとしてすごくいい例を作っていたいだいたというか、いい見本になりましたから、あれの札幌バージョンができればもう大成功かなと思いますけど。

—— 困みにPA、照明はどこが入ったんですか?

深堀：PAはトゥミックスの施工ですね。運営はウイークエンド。照明はシアターエンジニアリングで、運営はステージアンサンブルと。施工業者に関しては、全国（4ヶ所とも）一緒という感じになります。そのほうがわかりやすいと思いますしね。システムはどこも同じですよ、と。

—— 実際の使い勝手はどんな感じなんですか。本当は、実際に音出しする際にお邪魔しないと失礼だったんですが。

深堀：あのう、自信があるのは、外音ですね。外音は今すごく評判がいいんですよ。たぶん日本で一番

DJAPUMP Expression

FIRST ALBUM '98.7.23 ON SALE
Produced by AKIO TAGASHI

AVCT-10018 3,059YEN (TAX INCLUDED)



DJAPUMP
ISSA, KEN, YUKINARI, SHINOBU

Expression



4大都市1st.
コンサート
決定!
総合開催会社
0180-993-450

FIRST STAGE Expression
8.2 SUN 大阪城ホール 8.12 WED 名古屋 レインボーホール
8.6 THU 福岡国際センター 8.20 THU 東京日本武道館

いいと言ってもいいくらい。外音に関しては。

—— 基本的な概念はどうちなんでしたっけ? ライブハウスという概念なんでしたっけ、それともライブホールという概念なんでしたっけ。

深堀: ライブホールですね。

—— ですよね。

深堀: もとよりオープンな雰囲気のホールをイメージしていました。

—— 床の中は中抜けスピーカーが入ってるんですか?

深堀: ええ、中抜け防止のために。

—— 舞台、床下はじゃあ空洞なんですか?

深堀: 空洞で椅子が入ってます。

—— 音出しの問題等で、地域住民からのクレームはなかったんですか?

深堀: ないこともなくて、理解が得られるまで若干の時間を費やしたりしましたが、それは音出しの問題というよりは、要するに、若い人たちがたむろし

たりしてゴミを散らかすんじゃないとか、そういうことです。2000人もの人が来れば、やっぱり恐怖感はありますよね。突然に若い人が2000人も来たら…。

—— 周辺は住宅地なんですか?

深堀: そうです。住宅地の中に作ったんです。ただ、今は全然問題はないですね。ちゃんとわかってもらえてますし。そんなに子供たちも散らかさないですね。それに、みんなそれほどお金を持ってるわけでもないですから、CD買ってコンサートに来ることで精一杯というか…、だから、車で来るような人もいませんしね。実はゴミの問題以外にも、違法駐車の嵐になるんじゃないかなって言われてましたから。そんなことは絶対にないって言ってて。蓋を開けたら全然問題なく、大丈夫でしたね。

“レッド・ツェッペリン”に因んだ、ロックの匂いがするネーミング。

—— アクセスは地下鉄なんですね。

深堀: ええ。地下鉄の駅から1分くらいです。地の利は抜群にいいです。そうですね、それも自慢できることだな。あと柵? 転倒防止用の柵。これは自信あります。あとでご覧なって下さい。

—— それはどんなものなんですか? (ホールの) ど真ん中にも入ってるんですか?

深堀: 入ってます。真ん中にも。46本くらいありますから。

—— 46本? へーえ。ところで、何でZeppというネーミングなんでしたっけ?

深堀: ええっと… (笑)。ホールの形って、今はこういうカマボコ型じゃないですか? 上からみると。

—— はいはい。

深堀: カマボコなんですよ。ところが初期はもうちょっと飛行船に近かったんですね。こう、ひょろ長い感じというか…。社名はホールネットワークで決まってたんですけど、要するにライブハウス名をホ

- Zepp Tokyo '99年3月、東京の新名所お台場にオープン予定
- Zepp Osaka '99年末、大阪湾地区南港咲洲コスモスクエアにオープン予定
- Zepp Fukuoka '99年5月、福岡ドームに隣接する
アーバン・エンターテインメントセンターの一角にオープン予定



目覚めたら、あたらしい顔になっていた。



染谷俊 NEW ALBUM 7・18 OUT! [マーガレット]

CD:ESCB1895 税込¥3,059

ニューシングル [ポーカーフェイス] IN STORES NOW
CD:ESDB3849 税込¥816

染谷俊LIVE "Message from Marguerite"

8/5(水) 渋谷クラブクアトロ

8/7(金) 大阪心斎橋クラブクアトロ

9/8(火) 渋谷クラブクアトロ (8/9チケット発売)

(共通:スタート19:00、前売¥4,200、当日¥4,725<共に1ドリンク付・税込>)

東京公演 (問)ホットスタッフ・プロモーション 03-5720-9999

大阪公演 (問)キヨードー大阪 06-233-8888

Home page Address <http://www.realrox.com>

Epic Records
Sony Music Entertainment Japan Inc.

THE LONG INTERVIEW

Zepp Sapporo

ールネットワークにするわけにはいかないんで、いろんな名前を考えたんですよ。もうちょっとくだけたほうがいいんじゃないかということでね。それで、ツエッペリンはどうかという話になって…。

—— ツエッペリン号だ。

深堀：そうです、飛行船の。まあ頭の中にはレッド・ツエッペリンがあったんですけども、ツエッペリンって言いにくいじゃないですか？それに、若い人はたぶん知らないだろうし。でもゼップっていたら絶対に通じるだろうねって感じで。レッド・ツエッペリンは通称ゼップって言うじゃないですか？でもあれは“ZEP”なんですよ。じゃあうちは“ブ”的うしろに“ツ”が見えたりするから、二文字重ねようということになった。だけど、絶対に（この名称は）登録されてるよねって言って懸念していたところ、運よく空いてたんで、バンザイと。おかげに、ロックに匂いもプンプンするし、これでいきましょうということで。

—— なるほど、そういう経緯だったんですか。支配人としての業務にはもう慣れました？

深堀：僕は、レコード会社の前はSMAというプロダクションにいたんですけど、こういうホールのブッキングやマネージメントとは実際に違うじゃないですか？結構責任が重いというか…。こっちに来た8月くらいから、オープンまで約7ヶ月間くらい、WEESさんのコンサートとかいっぱい見せてもらって、そこで思ったのは、やっぱりみなさんすごく大変なんだな。

—— 普通に終わるということがどれだけ素晴らしいことか、ってことですよね（笑）。ものすごいですよ、それは本当に。

深堀：ああよかった、みたいな。

—— ですよね。僕なんかは、何の問題もなくコンサートが普通に終わったら終わったで、今日はもの足りなかったでしょう？って言われる。そういう時は何いってんだって思いますよね、本当に。無事に普通に終われることがどれだけ大変で辛いことか。ところで、オールナイトのイベントとかはやれるんですか？ここでは。

深堀：まだ駄目ですね。住民との問題もあって。まだ全部解決していないんで。

—— ただ、今の子は体力がないですからね。個人的には、オールナイト・ライブなんかはやらないほうがいいなって思ってるんですけどね。

深堀：隣にキタクラブってのがありますて、North Waveがプロデュースしてるんですけど、それは結構朝方までやってるクラブなんですよ。週末に行く人が入れないくらい溢れていますので、これは結構面白いことができそうだなという気持ちもある。諸問題が解決すればという前提で。例えば、土曜の夜とかね。キタクラブが終わったあとに。

東京では見られないような、Zepp独自のイベント＆ライブを積極的に企画していきたい

—— 今の時点では、直接的に組んでいる媒体というのはあるんですか？

深堀：UHBですね。あとNorth Wave。UHBは金曜の25時05～25時50まで45分間、ツエッペリンという番組をやっています。

—— North Waveとはどういう組み方なんでしたっけ？

深堀：今年、ノースが5周年でウチがオープニングなんで、5周年記念のコンサートを、しかも東京じゃ見れないようなスペシャルな組み合わせで、何本かやってみようかという話をすすめています。で、その「ツエッペリン」でチケットの先行予約をする。また、Zeppの先行予約というよりは、WEESの先行予約も兼ねていますよね。

—— 東京の場合、赤坂BLITZの番組「BLITZインデックス」で先行予約をやっているんですよ。例えば、1アーティストで200枚や300枚は取れるんですよ。

金子（ウエス プロデューサー）：それは、キャンセルはしないですか？

—— キャンセルしますよ。するけど、先行予約の意味をよく知っていますからね、東京の子たちは。とにかく、早くチケットが取れればいいんだから。

金子：僕たちにとって、これは逆にありがたいことではあるんですけどね。だって本当にやってもらつて、先行という意味を徐々に浸透させていかないと



いけないし。なにしろ初めてですからね、札幌では。先行して受け付けるというのは。これまで一般の発売日だけですからね。

—— 東京の場合、そのへんはすごいジャストなんですよ。「BLITZインデックス」でプレイガイドのオートアンサーhornを使う。基本的にみんな面倒臭いのは嫌いじゃないですか。だけど、これはオートアンサーhornだから、電話をかけてガイダンスにしたがうだけ。2公演あったら、例えば初日が希望の方は1を押して下さい、次の日は2、という具合にね。それで申し込みをする。深夜の予約で、やっぱり100枚が最低ラインだとすると、300枚とかとれますよ。ビジュアル系だと特に多い。ただ、優先と先行の違いをかなり鍛えてきましたからね。優先は1回のみの言葉だけど、先行は何度でも使える、と。これが不思議なところなんですけどね。で、一般的な電話予約の場合はなかなかかかりにくいくらい、みんなはしるんですよ、このシステムに。取れるなら取りたいって。

金子：札幌の場合はまだまだ時間が必要でしょうね。あと2～3年はかかるんじゃないですかね。

—— でも、客観的にみても、Zeppはどんどん稼働率が高まっていきそうですね。

深堀：だと嬉しいんですけどね。



HOUND DOG

New Single now on sale

焼酎行動派「Indigo」CFイメージソング

JUNCTION / 太陽に向かって

●CDS:CODA-1537 ¥1,050(税込)

New Album 7.29 on sale
BABY UNIVERSE

●CD:COCA-15161 ¥3,059(税込)

COLUMBIA

ビジュアルを超えたやさしさ

text by. 平山雄一

5 月2日、早朝、hideは亡くなった。その一週間前、尾崎豊の七回忌を済ませたばかりだった。hideと尾崎の生年は、一年違いだったと思う。この仕事を始めて出会い、年齢に関係なく尊敬できたアーティストふたりが、同じ季節の朝に逝ってしまったことに戸惑っていた。本来なら一年で最も爽快な時節に、あまりにも早く終わってしまったふたつの大きな才能。季節に本意というものがあるなら、初夏は危険を孕んでいるのだろうか。

2日の午後、横浜でその知らせを聞いた。ザ・イエローモンキーのライヴをテレビ神奈川の番組で収録するために、神奈川県民ホールにいたのだった。hideと初めて会った頃、彼がザ・イエローモンキーをデビュー直後から高く評価していることを話してくれた。hideと吉井和哉は親交があった。おそらく楽屋にもニュースは伝わっているはずだった。コンサートの本篇の最後、吉井は「こういう特別な日にライヴをやっているのは、何とも言えない気持ちです。心を込めて歌います。」と言って「離れるな」を歌った。hideの名前は出さなかったが、明らかに彼の死を悼むコメントだった。素晴らしい歌だった。hideとそのファンに対してのザ・イエローモンキーの哀悼の意がひしひしと伝わってきた。

表現の世界に身を置くアーティスト同士の交流がそこにあった。hideも今回のザ・イエローモンキーの壮大なツアーを見たかっただろう。そのhideもツアーが予定されていたから、ザ・イエローモンキーのメンバーも彼のステージを見たかっただろう。そうしたお互いの思いが「離れるな」に集約されて、音楽はホールを飛び出して、日本中を震わせているように感じた。

通夜と告別式を行った。ファン達はニュースが駆け巡った日から、悲しみを溢れさせながらも整然と行動していた。築地本願寺に遺体が安置されてから、寺の周りに集まり、ひたすらhideの死を悼んでいた。仕事を持っている人は時間の許す限り、寺の近くにいようとした。告別式の日、献花の列は隅田川まで及んだ。hideに最後の花を手向けるために、徹夜

をし、真夏を思わせる日差しに耐えて、ファン達は並んでいた。

思い思いの喪服を着け、思い思いの髪の色をしている人達の思いは、驚くほど統一されていた。何万人いただろう。膨大な数の参列者達は、心をひとつにしてhideの冥福を祈っていた。もちろん悲しみが大き過ぎて取り乱す人もいたが、自暴自棄にならず、hideがこれまで届けてくれた作品とメッセージに感謝していた。

朝日新聞の「天声人語」は良い葬式だったと書いていた。しかし、多くの大人達がファン達にそこまで思わせるhideを不思議がった。元祖ビジュアル系とも言えるX JAPANのメンバーだったhideは、過激なビジュアルのバンドの中でも特に際立った存在だった。ソロになってからも、シャープなビジュアルは変わらなかった。そんな格好をしている者が、どうして何万人もの人に尊敬され、愛されたのかと大人達は首をひねるのだった。が、答はとても簡単だった。hideが今まで発表してきた作品に耳を傾ければ、わかる。孤立し、不安を抱える若い心に、hideは自分の言葉と音楽で語りかけてきた。hide自身、不安なティーンエイジャーだったとき、音楽に出会い、魅せられ、救われたひとりだった。彼は常にインタビューで「初期衝動がいちばん大切だ」と言い続けてきた。彼の言う初期衝動にはいろいろな意味がある。まず音楽を作るとき、あれこれ考えず「かっこいい」と思うことを直感的に信じること。と同時に、こうした“かっこよさ”を求める不安や孤独な心を忘れるなということ。hide自身がロック・ファンだった。だからhideはファンのために、自分のために作品を作ってきた。このつながりこそが、あの葬儀の核心だったと思う。

そして、大人が首をひねるhideのビジュアルだ。そのビジュアルはhideがストレート

にかっこいいと思うものだった。ロックやパンクのみならず、ホラーなどの要素も取り込んだhideのビジュアルは、人の目を一瞬にして釘付けにしたり、あるいは目をそむけさせたりした。そのどちらもhideは狙っていたのだと思う。それを見てかっこいいと思う人だけ、歌を聴いてくれればいい。または、そうしたショッキングなビジュアルを越えて、歌を聴いてくれればいい。どちらにしても、見かけだけで物事を判断しようとする人の手の届かないところにhideは在ろうとした。誰にでも自分をわかってもらおうとは、彼は思っていなかった。ビジュアル系と呼ばれながら、見かけだけで決めるなどいうバラドックス。それこそがhideのオリジナリティーであり、純粹さだったと思う。

あの告別式のさまざまな髪の色は、本当の意味での仲間意識と自己表現の象徴だった。最後にhideの歌で最も好きなフレーズを書く。♪目の前にあるすべてのものが化物に見える♪（「DICE」より）





国内外のビッグ・アーティストや話題のバンドが多数参加する日本最大の規模の野外イベント“FUJI ROCK FESTIVAL”。昨年は暴風雨の影響で途中での中止を余儀なくされたが、今年は場所を東京のベイエリアに移しての、いわばリベンジ・マッチ。そこには仕掛け人日高正博氏のピュアな夢が息づいている。

聞き手=葛岡 晃(ソーゴー東京)
構成=巻田 昇(work shop j.p.n.)

特集 日本最大級の野外イベント FUJI ROCK FESTIVALとは。 日高正博(SMASH代表)インタビュー

—— この日本最大級といつてもいい“Fuji Rock Festival”というイベントの構想は、どれくらい前から抱いていたものなんですか？

日高：“Fuji”にしようと思ったのは3~4年前くらい前なんんですけど、こういうロック・イベントがやりたいなって考え始めたのはもう10年以上前だったと思う。正直な話、当時はまさか出来るとは思っていなかったんだけどね。俺は、夏はたいてい海外で過ごしていて、向こうの音楽イベントやフェスティバルをいろいろ見てるんですね。で、見るたびに素晴らしいなと思うわけですよ。何万という人が集まって、一人一人が相手の周囲に対して気遣いをして、相手のことを思いやって、好きな音楽を楽しみながら3日間、4日間を過ごすという…。そういうことが日

本でもできればなあとずっと思ってたんですよ。だけど、俺らもコンサートの仕事をしていてこういうのも何だけど、日本のコンサートって非常に業務的でしょう？「はい、ここから入りなさい」「あれはしてはいけません」「これもダメです」…etc.といった感じでね。まあ10年前に較べたら随分緩やかにはなってきましたけど、この堅苦しさがある限り音楽は根づかないと思っているんですよ。基本的に、俺らが“仕事”しちゃったら駄目だと思うんですよね。“仕事”をしなくてよくなった時がいちばんいいような気がする。とはいっても、お客様の中にはとんでもない人もいるから、きちんと仕切らないといけない部分はベーシックはあるんだけど、そういう仕事仕事した環境じゃなく、俺らもお客様もみんな

が楽しめるものができないかなと思ってた。でもその時は富士山には全然こだわってなくて…。で、7~8年前から、そんなイベントを実現できそうな場所を探し始めたんですよ。北は福島から南は岐阜まで。ジープにテントを積んで、あちこち見てまわったんですよ。地元の人たちは不信に思ったでしょうね。だって、いきなりわけのわからない男がやってきて「ここは誰の所有地なんですか？」とか訊いてまわってるわけですから（笑）。その途中に、木曽の御岳山の麓にいい場所を見つけたんだけど、東京から車で3時間半はかかる。そんなところまでお客様は来てくれるかなと思っていろんな人に相談したら、「そんなところまで行かないですよ」ってひと言で片づけられて…（笑）。それで、その後に去年やったあの場所が見つかった。交渉を始めて正式な許可をもらうのに1年かかったけどね。

—— じゃあ“Fuji”には全然こだわってなかったんですね。見つけた場所がたまたま“Fuji”だったということです。

日高：そうそう。じゃあ東京でやる今回も何故“Fuji”ってつけたかというと、だって来年は“Fuji”に帰るんだからという…（笑）。

—— 富士山が見える場所だから、という理由でもない？（笑）。

日高：（富士山は）見えるんだよね。冬は特にはっきりと見える（笑）。で、何故あの場所になったかというと、今年の1月にイギリスの広告代理店の人間がやってきて、東京で大きなイベントができないかと言うんで、ベイサイドスクエアに連れていったんですよ。その時はまさかそこで（Fuji Rock Festival）やるとは思っていなかったわけ。そしたらあの場所から富士山がくっきりと見えた。大雪が降ったあくる日だったから、空気中の塵が全部雪に吸い取られてたんだろうね。そんなところから徐々に話が進んでいったわけです。ただ、（去年の）富士の麓の場所を見つけた時は、絶対にここでやりたいなと思ったんですよ。というのも、交通の便としてはややキツいかなとは思ったけど、海外に対してすごくイメージがいいからね。

SEE THE STARS
OF TOSHIBA-EMI
AT FUJI ROCK
FESTIVAL '98
IN TOKYO



IGGY POP



NICK CAVE & THE BAD SEEDS



HOTEI

8/1[sat.]

8/1[sat.]

8/2[sun]

—— 夏という季節を選んだのは、海外の夏のイベントをいろいろ見てきたせいですか?

日高:いや、時期的には9月でも10月でもよかったんだけどね。

—— でも野外ということであればやっぱり夏がいいですもんね。野外というロケーションは…。

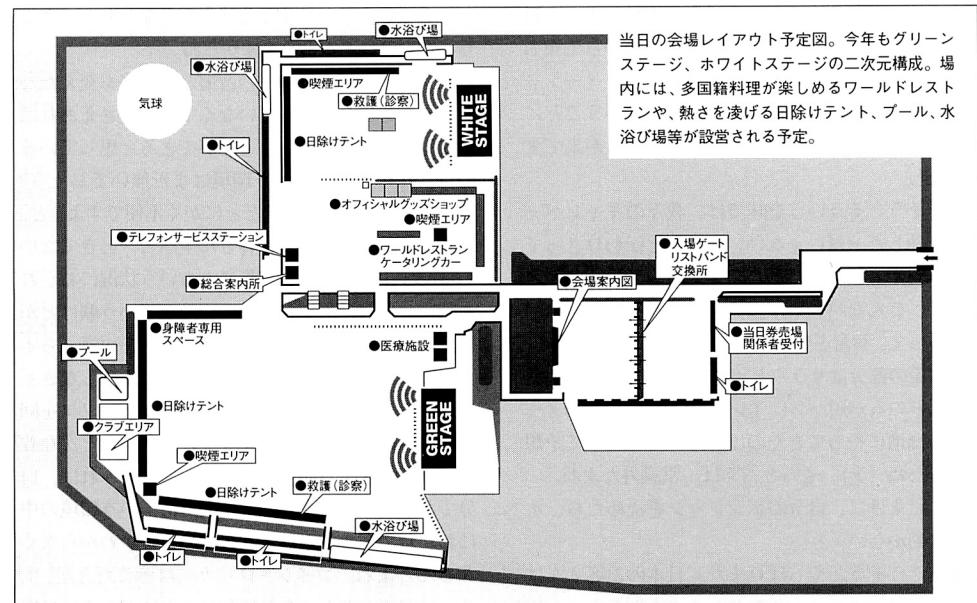
日高:それはもう絶対条件だよね。

—— あと、内容を洋楽と邦楽のオムニバスにしようと思ったのは?

日高:それも絶対条件。まあ名前に“Rock Festival”ってあるけども、ロックにこだわってはいなくて、いろんな音楽があっていいと思ってる。アフリカの音楽も日本の民謡も、どんな音楽があってもいいと思うんです。それに、日本にこういうフェスティバルはなかったから、日本から発信したいという気持ちが強い。去年も世界各国から200人くらいのジャーナリストや、レコード会社を含め音楽関係者が集まつたから、そういう人たちの前で、いいパフォーマンスを見せたかったし、日本にもこういういいバンドがいるんだということを知らせたいし。SMASHを作った時から根底にあるのは、日本のバンドをなんとか外に出したり、あるいは国内でもいいバンドがいたら積極的に紹介していきたいという考え方なんですね。だから実際にそういうバンドを取り上げて紹介してきてるしね。

—— なるほどね。去年は台風による悪天候のダメージがかなり大きかったと思うんですけど、そういうことを経験された立場から、このフェスティバルをスムーズに運ぶための対処法なんかがあれば伺いたいんですけど。

日高:まずね、このフェスティバルをやる時には、完璧なチームが必要だということ。これも絶対に欠かせない条件。でもノウハウとしては、東京ドームとか西武球場なんかでの、いわゆる整然と行われるものしか経験していないわけだから、そういう意味ではみんな未経験ということになる。だからこそ、そのチームをかなり鍛えないといけないということは、去年の反省からの課題でもあるんだけど、それよりも大事なことは、遊び心を忘れないってことだよね。自分が客だったら、どうしたいか、何があればいいのか、ってこと。そういう観点で考えた場合、今年のこの場所でやる際の対処法としては、まず暑さ対策が必要だな、と。まあ一番前で水を撒くのは当たり前として、じゃあ日除けを作ろうと。日陰を作るテントを立てる。あと、プールに行くとシャワーというかスプリンクラーがあるでしょう? あれを作ろうと。それから、大がかりなものはできないけど、ちょっと遊べるようなミニ・プールのようなも



のを作つてみようかなとは思つてます。暇な時にちょっと来て、短パンひとつとびこめるようなものを、ね。そういうものを作つて、なるべく水気のある場所を確保する。もうひとつ大事なのは、お客様にちゃんと休んでもらうこと。この手のフェスティバルは1日にバンドが10何本も出るわけだから、まだフェスティバル慣れしていないお客様は、アレも見たいコレも見たいというふうになっちゃうんですよ。だけど、それははっきりいって不可能なん

用してもらわないとしようがないからね。そのほかにもいろいろいっぱい考えてますよ。200人くらいしか入れないんだけど、エアコン完備のテントを持ち込んで、中にはDJがいたり飲み物があったりするような、ね。これは日本にないからイギリスから運んでくるんだけどね。あと、ワールド・レストランのテントを作つて、まず日陰を作りつつ、そこで食事ができるようにするとか、アトラクションも幾つか考えてる。こういうものは、コストがすごくかかる

このフェスティバルを成功させる秘訣は、まずスタッフ全員が遊び心を忘れないこと。これはある種の音楽の遊園地だから、みんなが楽しめないと意味がない。



だよね。炎天下に10何時間もい続けるなんてことはさ(笑)。そんなことしたら日射病や熱射病になって倒れちゃうし。俺がいちばん怖いのは、40分の休憩時間を設定しても、休まないで一番前で次の出番を待つてゐる人たちね。前の晩から寝ずにやって来てずっと頑張ってる人。

—— どうしても日本人にはそういうところがありますよね。

日高:もうさ、花見の陣地取りみたいになっちゃつてゐるからさ。それは何とか避けないといけないと思ってるんですよ。で、大きなビデオ・スクリーンを会場の何ヶ所かに置いて、ステージ前から離れる時には離れてもらう、と。それできちんと休息をとつてもらう。いくら施設を用意しても、お客様に利

るものだから、無きゃ無いでいいのかも知れないけど、ある種の音楽の遊園地なわけだから、みんなが楽しめるものじゃないとダメなんですよ。ただ、何時から何時までショーがあります、コストはできる限り抑えます…じゃ、何も楽しめないし、このフェスティバルは実現しないでしょうね。まず作る側が楽しむことかな、大事なことは、そういう部分はこの業界のいろんな人たちにも経験にしてもらいたいなと思ってます。去年もね、台風で実現しなかったけど、映画をやろうとか思つて…。あの場所で映画をやろうと思えばそれなりにコストはかかるんだけど、それを惜しんでちゃ何も楽しめないから。お客様にもいい記念になるだろうし。

—— 楽しむための基本として、お客様の自己管

Speedstar is progressing

Southern All Stars
Cocco
Jungle Smile
KAITA
THE MAD CAPSULE MARKET'S
Sheena & The Rokkets
THE STAR CLUB
TOKYO No.1 SOUL SET
UA
WINO



4-26-18 Jingumae, Shibuya-ku Tokyo 150 Japan Tel. 03.3746.5581 Fax. 03.3746.5631 URL http://www.jvc-victor.co.jp/studio/speedstar/

SPEEDSTAR RECORDS
A Division of Victor Entertainment, Inc.

理も大切になりますよね。去年も、雨具や水、食料は持ってきたほうがいいとか、山で寒いから毛布もあったほうがいいとか…そういうインフォメーションはされてるんだけど、お客さんはそういうことはまったく無防備なまま、相当数の人たちが来てましたよね。

日高：そう。そういう意味では、我々のキャンペーンも成功したとはいえない。ちゃんと伝わりきってなかったかも知れないしね。メディアでの紹介のされ方も、こんなバンドが出る、あんなバンドも出演する…って、興奮を煽るほうばかりが強調されて、安全対策の部分はサラッと流されてたしね。ただね、ほとんどの人が短パンにTシャツのまま、1200メートルの高地にやってきたのは、はっきり言って予想外だったね（笑）。もっと言えば、常識外だよね。

—— おまけに、自分のポジションを決めたら、そこから動かない、と。

日高：そうそう。やっぱりまだ、日本のお客さんはこういうフェスティバルの楽しみ方を知らないと思わざるを得ない。

—— 向こうのフェスティバルでは、出演バンドが変わるとお客さんも入れ代わるんですか？

日高：お目当てのバンドの時は最前で盛り上がって、それが終わると後ろに下がってそれなりの楽しみ方をする。それに、いくら盛り上がってしても、俺だって最前までいけるもん。見たいと思えば。お客さんどうし譲り合うしね。だけど日本はギューギューで身動きとれない感じで、しまいにはモッシュを始めちゃうしね。バンドはバンドで、そういう光景を見ちゃうと、ヘタな演奏はできないって感じでよりハイテンションになっちゃうし、去年はそういう状況が台風の中、10何時間も続いたわけだからね（笑）。俺、ステージから見ててびっくりしたもん。客席に濡がかかっているのかと思ったら、お客さんの熱気なんだよね。雨に濡れたこともあって、人の体からスチームで視界が悪くなったり。だから、こういうフェスティバルの楽しみ方っていうものを、徐々に啓蒙していく必要はあるんじゃないかな。

—— 長くやっていけば、お客さんも慣れていくでしょうね。じゃあ基本的にはこのフェスティバルは毎年続けていくというビジョンなんですね？

日高：そうですね。倒産しない限り（笑）。

—— 海外からもいろんな注目を集めたんじゃないですか？

日高：ホームページがパンクするくらいたくさんアクセスしてもらったんだけど、ほとんどが日本人からの悪口だったな（笑）。

—— やっぱり短くても10年くらい続けていかない

と、こういうことをやる意味もなかなかわかつてもられないところがありますからね。

日高：俺は別に、世の中の習慣とか文化を変えたいということは全然思っていないくて、環境さえあれば人間はものすごく面白いことができると思ってるわけ。だけど、こういう環境はまだ無いでしょう？で、去年も言ったんだけどとにかく不便ですよ、と。でも不便と言われてもお客さん全然ピンときてないわけですよ。だから、実際にああいう状況におかれたら時に、自分が何をしたらいいのかという躊躇とか社会環境の中で育ってきてないから、戸惑っちゃうんですよ。子供の頃から、髪の毛はこうしなきやダメとか、修学旅行に行つても、ココとアソコを回るから旗の後ろについてきなさいとかね。そんな教育で育ってきてるから、お客さんにしてみれば、自分でお金払って来たものの、突然ああいう環境の中におかれてしまうと、どうしていいのかわからなくなるんだよね。コイン・ロッカーはどこだと、トイレはどこだと、全然便利じゃない。おまけに台風も来ちゃうしさ（笑）。だから、自分がおかれた環境の楽しみ方を身につけてほしいよね。まあ、自分がおかれたというよりは、自分で選んだ環境の楽しみ方だよね。ただ去年は、いちばん最初にしてはちょっとキツかったかなとは思うけど。交通渋滞の対処を含めてね。

—— あれも大変でしたもんね。

もん。例えば、お客さんをブロックに分けて、鳥小屋におこしむような形で規制せざるを得なくなったらもうやめるよね。楽しくないし。仮に、10年後やれていないとしたら、その二つのどちらかじゃないかな。他の圧力の介入が倒産。

—— キャスティング面においては、例えば日本のアーティストにしても、ロックの匂いの強さにこだわってる部分もあるようですが、続けていくうえでの障害として、もっとやんわりした音楽性のアーティストの有無っていうのはどの程度関わっていきそうでしょうかね。

日高：やんわりした音楽を入れたいんだけどね。ただね、日本のそういうやんわりした音楽というか、日本はロックという名前の歌謡バンドが多いわけでしょう？俺に言わせれば99%がそんな感じ。でも、歌謡曲がいいとか悪いとかの問題じゃなくて、そういう歌謡曲寄りのアーティストのお客さんは、特に知らないんですよ、この手のイベントの楽しみ方を。だからかえって危険なんですね。だから音楽に問題があるんじゃなくて、お客さん側の問題。そういうお客さんは、普通の管理された会場でコンサートを見る人ばかりだからね。席もちゃんと指定されててね。立ちでもブロック指定されててそこから動かない人たちだから。そういう人たちにはまだ対応できないところもあるから。だけどそれにしたところで、お客さんが悪いんじゃないんです。慣



日本の一般的な音楽ファンは、まだ型どおりの楽しみ方しか知らない。もっと個々が自由にライブを楽しめるような土壤を根づかせるためにも、継続していきたい。

“FUJI ROCK FESTIVAL '98 in TOKYO”は、8月1日、2日東京ベイサイドスクエアにて開催される。出演は、ビヨーク、ベック、イギー・ボップ、プロディジー、ライマール・スクリーム、日本からも忌野清志郎、HOTEI、ホフディランなど、昨年に劣らない人気アーティストが集合。

日高：確かに予想できなかった部分もあるんだけど、対応しきれなかった。つまりは、運営も完璧じゃなかったわけだから、お客さんも我々もお互いに、何回も何回もやっていきながら、いろんな楽しみ方を身につけていければ…というところでしょうね。だからね、10年後もたぶん出来ていると思うんですよ、俺は。ウチの会社が倒産でもしない限りね（笑）。

—— ははは（笑）。

日高：それがなくても、いつどういう形で問題が出てくるのかわからないんだから。例えば、こういうスタイルのイベントはいかん、と行政側から指導を受けたりしないとも限らないしね。現実に、そういう可能性だってあると思うし。でも俺は、このフリーなスタイルでできなかったら、もうやりたくない

れていないだけだから。だったら、続けていくことで、何年か経ってみんなが慣れていくれば、日本のいろんな音楽性のアーティストにも参加してもらえるようになると思うんだけどね。

—— 作る側も見る側も少しづつ勉強していく、と？

日高：うん。俺たちは、ダイブしたりジャンプしたりボディサーフしたりモッシュしたりする客には慣れてるんだけど（笑）、そうじゃない普段管理された環境でライブを見てるようなお客さんがね、逆に可哀相になるんですよ。だからそういう部分も含めて、みんなが楽しめていい思い出にしてもらえるようなフェスティバルになればいいなというビジョンを抱えつつ、続けていきたいですね。

音 楽 が い っ ぱ い

POLYDOR
POLYDOR
POLYDOR
POLYDOR
POLYDOR
POLYDOR
POLYDOR
POLYDOR
POLYDOR
POLYDOR

A PolyGram company

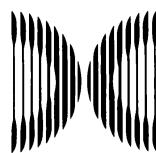


ポリドール株式会社
本社：〒153 東京都目黒区大橋1-8-4

私たちは、コンサート事業を応援しています。

ONKEN

株式会社 東京音響通信研究所



KYORITZ

Live Communications

シミズ舞台工芸 株式会社



日本ステージ株式会社

ESS 株式会社
J・A・P・A・N イー・エス・エス ジャパン



日通航空
NIPPON EXPRESS

音と映像のプレゼンテーター

HIBINO

BIG1

LIGHTING PROJECT TEAM

Rond.

INSTRUMENT TEAM

from
A.C.P.C.

この度、平成10年度通常総会において任期満了につき役員選挙を行った結果、以下のとおり新役員が選任されました。

新役員決定

会長	内野二郎	(株)オデッセー
副会長	井上隆司	(有)サンデーフォークプロモーション
専務理事	善木準二	(株)夢番地
常任理事	佐藤寿彦	(株)ジー・アイ・ピー
	瀬川忠雄	(株)ノースロード・ミュージック
	永田友純	(有)ホットスタッフプロモーション
	山崎芳人	(株)キヨードー東京
理事	赤羽浩治	(有)バックスステージ・プロジェクト
	岡本 哲	(株)キヨードー横浜
	小島紳次郎	(株)ウエス
	鈴置雄三	(株)サウンドクリエーター
	高山昌芳	(株)フリップサイド
	比嘉 螢	(株)ピーエムエージェンシー
	藤田 等	(有)エフ・オー・ビー企画
	萬田 仁	(有)ユアソング
	宮垣睦男	(株)デューク
	諸富晃教	(株)くすミュージック
	山内輝俊	(株)ビッグイヤーアンツ
監事	黒田益弘	(株)ソーゴー東京
	橋本福治	(株)キヨードー大阪
	室田正則	(株)キャンディープロモーション

(五十音順)

* IN STORE NOW *

今井美樹
2枚組スーパーBESTアルバム

IMAI MIKI
from 1986



きっと、あなたの人生をかえた曲がある。
DISK 1は、今井美樹シングル・コレクション。デビュー曲から最新作までをフル・ラインナップした永久保存版。

DISK 1 1.黄昏のモノlogue 2.群性の風 3.静かにきたソリュード 4.彼女とTIP ON DUO 5.Boogie-Woogie Lonesome High-Heel 6.誰がほほえむか 5.PIECE OF MY WISH 8.Blue Moon Blue 9.Bluebird 10.Miss You 11.Ruby 12.PRIDE 13.DRIVEに連れって 14.白のワルツ 15.私はあなたの空になりたい

やさしい天使の声は、いつしか勇気の歌を。
DISK 2は、今井美樹・作詞のナンバーを数多く含む秀作セレクション。彼女が歩いた12年間の旅、そのスピリチュアルな記録。

DISK 2 1.悲しい選末 2.思い出しただけ 3.黄昏色いTV 4.9月半島 5.あいふれたLove scene 6.泣きたかった 7.蝶く星になって 8.新しい街で 9.黄昏 10.遠い街から 11.Martiniqueの海風 12.蝶く街で 13.海辺にて 14.春の日 15.Love Of My Life

FLCF-3719 ¥3,800 (tax in) 

平成9年度 事業報告

平成10年6月15日(月)に開催されました通常総会において報告・承認されました「平成9年度事業報告」をここに掲載し、会員各位の浄財をもとに、1年間活動させていただいた御礼を申し上げます。

1.コンサート事業に関する調査・研究

(1)市場規模調査

- 公演本数：8600本
- 観客動員数：13,000千人

(2)JASRACが予定している「著作物使用料規程」の改定に対して、使用者団体として「改定に関する要望書」を提出した。

(3)文化庁より依頼のあった「著作権等の集中管理制度に関する調査」に対し、著作物使用料の決められ方の不合理性、仲介業務者の既得権化等に言及した意見書を添付して回答した。

(4)通産省ならびに情報処理振興事業協会による電子商取引実験の参加を目指し協議を進めた結果、平成10年度事業として補助金の交付が決定された。

名称：「コンサートにおける電子チケット流通システムの開発」

(5)コンサート情報の事業化研究

◎全国のレコード店に設置された「インター ガイド」に対する実験的情報供給の開始。
◎一斉同報機能を持つ新型ポケットベル「週末イベント情報」に対する実験的情報供給 の開始。

(6)保険制度の研究及び実施

- 年間事故数：15件/17名

2.コンサート事業に関する研修会・セミナーの実施

(1)研修会…平成10年3月17・18日

(宮城県仙台市)

“プロモーション～自らを振り返って”

講師：大里洋吉氏

(株式会社アミューズ代表取締役会長)

(2)セミナー

①平成9年11月21日(東京都千代田区)

“マルチメディア時代における放送と 音楽ビジネス”

講師：後藤亘氏

(エフエム東京代表取締役社長)

②平成10年3月12日(東京都港区)

“インディーズについて”

講師：鰐部登美男氏

(リズールミュージック代表取締役社長)

3.コンサート事業に関する情報の収集 及び提供

(1)機関誌「ZONING」の発行

(2)FAXによる「Weekly ACPC」の発信

(3)公演会場・楽屋等・会員の「花」の需要に 対する一括注文サービス実施

4.コンサート事業に関する内外関係 機関等との交流及び協力

(1)(財)音楽産業・文化振興財団への協力

●ミデムアジア(香港)参加の運営協力

●アジアミュージックフェスティバルの制作 運営協力

(2)カラオケ教室不法録音懇談会(福岡／広島)の 運営協力

(3)舞台芸術フェアへの参加

「コンサートの円滑な運営とホールの利用促進 に向けて」

Mr.Children/MY LITTLE LOVER/SPEED/The gardens/Naoko Iijima/TimeSlip-Rendezvous/THE COOL CHIC CHILD/Yohito Teraoka/Mikio Sakai
SOPHIA/Eri/pre-school/eastern youth

**Presenting toys to our planet.
...That's what we wish to carry on.**

 **TOY'S FACTORY**

bellissima! records COSA NOSTRA/Risa Hirako **deep blue records** Issei Igarashi/Yuka Kido
CARNAGE Label cocobat/Hi-STANDARD/cokehead hipsters/HUSKING BEE/BACK DROP BOMB **idyllic records** SILENT POETS/NATURAL CALAMITY
SENHA & Co. ゆず **NATURAL FOUNDATION** かせきざいだあ

コンサート約款

コンサートは入場者、実演家、主催者等参加するすべての者が互いに果すべき責務を認め合う「協調」のもとに成立します。このコンサート約款は、実演家の直接的表現行為であるコンサートがその芸術性を充分發揮し、入場券購入者に大きな感動を与える環境を保持するとともに、合理的で円滑な運営をもって入場券購入者の保護及びコンサート主催者の正当な利益の保護に資する事を目的として、入場券購入者とコンサート主催者との間に於ける入場券及びコンサートに係わる基本的な契約関係を明示したものです。

第一章 コンサート

第一条 <定義>

この約款に於いて「コンサート」とは、常設又は、仮設の演奏会場において催される音楽演奏会のうち、当日入場券又は前売り入場券を販売して行われる有料のものをいいます。

第二条 <開催>

コンサートは通常、主催者が、出演者、制作者、会場所有者（管理者）等関係者との間で興行を開催するために必要な手続き、契約を行って開催されます。

第三条 <契約>

主催者と入場券購入者との契約は、主催者が告知した公演内容及び本約款を入場券購入者が応諾して、入場券購入者が入場券を購入した時（代金支払完了時）からその関係が成立します。

第四条 <公演内容>

公演が実施される際、やむを得ない事情により相応な範囲で内容を変更する場合があります。

第二章 主催者

第五条 <定義>

主催者とは、当該コンサートの経済的及び運営上の支配権の一部又は全部を有する者すべてをいいます。

第六条 <明示の義務>

- (1) 主催者はコンサート開催に関する責任を明確にするため、入場券面に、主催者、及び連絡先を明示しなければなりません。
- (2) 主催者が複数にわたる場合にあっては、主催者間に於いて協議し、入場券購入者の窓口業務にあたるための代表する主催者を入場券面に明示しなければなりません。

(3) 特別な理由があつて、任意の団体もしくは人格なき社団を構成してコンサートを主催する場合は、入場券購入者の窓口業務を遂行するため、責任者及び連絡先を入場券面に明示しなくてはなりません。

【例】 実行委員会 委員長——連絡先……
まつり協議会等 (株)——連絡先……

第七条 <主催者の義務>

主催者は、入場券を発券販売する等、コンサートの開催に係わる業務を統括する他、コンサート実施日には、事故なく円滑に運営する義務を負います。

第八条 <補償>

主催者はコンサート会場内に於いて、天災不可抗力以外によって生じた入場者への携帯物及び身体的な損害について、関連する保険の範囲内に於いて相応な補償をします。但し、損害を受けた入場者の故意又は過失に基づく場合には、この限りではありません。

第三章 会場秩序の維持

第九条 <事故の事前防止>

- (1) 主催者は、不慮の事故を防止するため、必要な人員を配置しコンサート会場を管理統括します。
- (2) 主催者はコンサート入場者に対し、円滑で安全なコンサート環境を提供するため、演奏会場において必要と思われる注意事項等を告知します。
- (3) 主催者は、コンサート入場者に対して、会場への入場に際して主催者の指定する危険物及びコンサートの進行の妨げになると思われる物品の持ち込みを禁止できます。
- (4) 主催者は、コンサートの入場者の入場に際して携帯品の開示等を求める事ができ、危険物及びコンサートの進行の妨げになると思われる物品は、これを終演時まで預かり保管する事ができます。

(5) 主催者は、コンサート会場が混乱すると判断した場合、コンサート入場者に注意を呼びかけ、適切な指示を与える事ができます。

(6) 主催者は、コンサート入場者が係員の指示に従わなかったり、他のコンサート入場者に迷惑を及ぼす等、円滑なコンサート運営が妨げられると判断した場合、当該入場者にコンサート会場からの退去を要求する事ができます。この場合、入場料金は返却しません。

(7) 主催者の指示ないしコンサート会場での注意事項に従わずに生じた事故等については、主催者は責任を負いません。

第十条 <開演後のコンサートの中止及び閉演>

主催者は、開演後のコンサート会場に於いて、天災や不可抗力の事由によってコンサートが続行不可能と判断した場合や、入場者や出演者に被害が及ぶと判断した場合、コンサートを直ちに中止又は閉演する事ができます。この場合、原則として入場料金は返却しません。

第十一条 <個別コンサート固有の注意規定>

- (1) コンサートには、演奏される音楽の種類、出演者の芸術的価値観、表現方法の違い等によって、コンサートそれぞれの開催主旨があります。こうした個別コンサート固有の開催主旨にのっとって、主催者は、コンサート会場それぞれの特別な規制を行う事があります。
- (2) コンサート固有の規制について主催者は、コンサート実施日に於いて開演前又は入場入口にてコンサート入場者に規制及び注意事項の告知をします。
- (3) 本条第2項にいうコンサート固有の規制については、おおむね次の様なあります。なお、物品等の持ち込みを禁止する場合には本約款第九条第4項が準用されます。

戦後日本の音楽文化を動かした
実力者たちの真摯な情熱！

「夢のワルツ」
内野二朗 著 (ACPC会長)

音楽プロモーターが綴る“戦後秘史”50年



プロモーターの草分け
「キヨードーグループ」の創始者として、歴史を実体験してきた著者が初めて明かす驚愕の真実。

- 第一章 戦友たちの邂逅
第二章 一九四五年 ジョンソン基地
第三章 洋楽の基礎は進駐軍にあり
第四章 ショー・マスト・ゴー・オン
第五章 モンキー・ア・ゴーゴー
第六章 ストレング・デイズ
第七章 命がけのロックコンサート
第八章 そして、“ラブ・サウンズ”を…
第九章 フロム・ウエスト・トゥ・ジャパン
第十章 ウィー・アー・ザ・プロモーター

定価：本体1800円(消費税別)/講談社

- [例] [1]カメラ、テープレコーダーの会場持ち込みの禁止
[2]入場者の入場規制(乳児、幼児の入場禁止)
[3]ペンシルライト等応援物の持ち込みないし使用禁止
[4]開演後の入場規制
[5]携帯電話及びポケットベルの使用禁止
[6]電子音等を発する機器の音量調整

第四章 入場券

第十二条 <入場券>

- (1) コンサート主催者は、購入者に対してコンサートへの入場を保証する証書として、入場券を発行します。
(2) コンサート実施日に発券される入場券は、当日券と称されます。
(3) コンサート実施日前に発券される入場券は、前売り入場券と称されます。

第十三条 <発券>

入場券は、主催者により発券管理され、主催者もしくは委託販売者より購入希望者に対して券面表示額にて販売されます。なお、券面表示額には消費税が含まれます。

第十四条 <委託販売>

- (1) 主催者は前売り入場券の販売を委託販売者に委託する場合があります。
(2) 委託販売される前売り入場券は、入場券面に表示されている金額で販売されます。
(3) 委託販売者によって扱われた前売り入場券の小売過程に於けるトラブルは、委託販売者と入場券購入者との協議の上解決されます。入場券面に表示されている事項についてのトラブルは、主催者と入場券購入者との協議の上解決されます。

第十五条 <転売の禁止>

主催者もしくは委託販売者により発券された入場券は、営利を目的として第三者に販売ないし譲渡する事はできません。なお、主催者は前条第1項による委託販売者ではない「チケットショップ」及び「ダフ屋」から購入された入場券に関するトラブルについて責任を負えません。

第十六条 <代行業者からの入場券購入>

主催者もしくは委託販売者により発券された入場券を購入するにあたり、購入代行業者の仲介により購入された入場券に関するトラブルについて、主催者は責任を負えません。

第十七条 <目的外使用>

主催者もしくは委託販売者より発券された入場券は、主催者の同意なしに、物品の販売促進、景品等、主催者以外の者もしくはその物品ないしサービスの宣伝、推奨ないし告知に関して、譲渡する事はできません。

第十八条 <表示>

- (1) 主催者は、発券する入場券に次に掲げる事項を明記しなければなりません。

[1]コンサートタイトル [2]出演者 [3]開演日

[4]開場時間、開演時間 [5]料金 [6]会場名

[7]主催者名もしくは代表する主催者名

[8]問い合わせ先

但し、出演者については出演者の一部のみの表示や表示しない場合があります。

- (2) 主催者の同意なしに掲載されたコンサートの告知等に基づくトラブルに関しては、主催者は責任を負いません。

第十九条 <有効性>

- (1) 入場券は、券面指定日時に限り有効です。
(2) 入場券は、正当な理由があると主催者が認めた場合以外は、盗難、紛失による再発行は致しません。

第二十条 <取り替え、変更>

一旦発券された入場券は、他の日時別種の日時と取り替えはできません。

第二十一条 <座席位置の移動>

- (1) 主催者は、死角の発生や機材の移動等、コンサートの開演のためやむを得ない事由によって入場者に座席位置の移動をお願いする事があります。
(2) 本条第1項の場合に於いて、入場者は主催者との協議を経て入場券の払い戻しを請求する事ができます。但し、旅費及び通信費等の補償はできません。

第五章 コンサートの延期、中止

第二十二条 <入場券の払い戻し>

コンサートの特殊性に鑑み、本約款に定める以外には、入場券購入者はいかなる理由があっても、入場券の払い戻しを受ける事はできません。

第二十三条 <延期、中止>

- (1) 主催者は、天災、出演者の病気、死亡等不可抗力の事由によってコンサートを延期又は中止する事ができます。この場合、次の代替公演日のない時を中止と言います。
(2) 本条第1項でいうコンサートの延期とは、当初のコンサート公演予定日から一年以内に主催者によって代替公演日が指定されたものをいいます。

第二十四条 <告知義務>

主催者は、コンサートの延期、中止を決定したときマスメディア等を通じてすみやかにその旨を入場券購入者に告知しなければなりません。この場合主催者は次に掲げる事項について発表しなければなりません。

[1] 延期又は中止の明確な告知

[2] 延期又は中止の理由

[3] 延期の場合の次の公演日時、場所の設定

[4] 払い戻しを希望する入場券購入者への

払い戻しの期間、場所等要領の説明

第二十五条 <払い戻し金額等>

- (1) コンサートの延期・中止の場合の払い戻し金額は、前売り入場券の券面金額です。
(2) 入場券購入者は、コンサートの延期・中止のための入場券払い戻しを受ける際、入場券購入のための旅費、通信費等入場券面にある入場料金以外の経費を請求する事はできません。但し、郵送手数料を主催者又は委託販売者に支払っている場合であって、まだ入場券の郵送がなされていないものについては、その払い戻しを受ける事ができます。
(3) 主催者は払い戻しを実施する際、一週間以上の期間を設定しなくてはなりません。

第二十六条 <公演予定日の対応>

- (1) 主催者は、コンサートの延期・中止の時、公演予定日には係員を公演予定会場に配置し、延期・中止を知らずに会場に来場した入場券購入者に本約款第二十四条の要項等についての対応をしなければなりません。
(2) コンサート開催日以前のコンサートの延期・中止告知を知らずに来場した場合、又は、コンサート開催予定日当日にコンサートの延期ないし中止が決定された場合、入場券購入者は入場券面にある前売り入場料金以外の旅費、通信費等の経費の請求はできません。

第六章 その他

第二十七条 <物品の販売>

主催者はコンサート会場周辺で販売されている不正商品（主として当該コンサートの実演家の許諾なしに当該実演家の氏名・肖像等を使用した商品をいう。）についてのトラブルの責任を負いません。

第二十八条 <予約>

この約款では、電話その他の方法によるいわゆる予約中の状態については規定しません。



日本工学院専門学校

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-123-351(入学相談室)

DIGITAL JUNGLE 日本工学院にアクセスしよう！ <http://www.neec.ac.jp>

- コンサート・イベント科
- コンピュータミュージック科
- 音響芸術科 ●放送メディア科 ●放送芸術科
- 演劇俳優科(声優/舞台俳優コース)
- 演劇科(声優/ミュージカル・舞台俳優コース)
- 演劇スタッフ科

日本工学院八王子専門学校

〒192-8570 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-700(入学相談室)

私たちは、全国のコンサートツアーを
サポートしています。



コンピュータチケッティング協議会

株式会社 SSコミュニケーションズ

チケットセゾン
住所 〒102-8432 東京都千代田区二番町11
Tel.03(5276)2100(代)

コミュニティネットワーク 株式会社

CNプレイガイド
住所 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-19-2 BHビル
Tel.03(5800)3200(代)

ぴあ 株式会社

チケットぴあ
住所 〒102-0075 東京都千代田区三番町 5-19
Tel.03(3265)1668(代)

株式会社 マイカル

MYCAL 21チケットぴあ
住所 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 3-1-30
第一勧銀船場ビル
Tel.06(252)5052(代)

株式会社 丸井

丸井チケットぴあ
住所 〒164-0001 東京都中野区中野 4-3-2
Tel.03(3384)0101(代)

株式会社 ローソンチケット

ローソン チケット
住所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-2-1
ダイエーOMCビル9F
Tel.03(3573)2807(代)

(社名 五十音順)

コンサートチケットは、安心の
協議会 加盟社でどうぞ。

